



「地域からの声」

地域の方から電話でさまざまな声が学校に届けられます。『ゴミの日に指定された所にゴミを出していたら、城山中学校の女子生徒が、「お疲れ様です。ありがとうございます」と声をかけてくれました。温かい言葉かけに心が温くなりました』などの感謝の気持ちやお礼を伝えてくれる電話もあれば、「通学路で中学生が何人かでたむろしていて道が通りにくいです。注意してください」などの苦情の電話もかかってきます。感謝やお礼の電話はうれしく、電話を受けている先生方も心が温かくなります。しかし、苦情の電話を受けるときは、つらい気持ちになります。電話口で電話を受けた先生が「申し訳ございません」と迷惑をかけた生徒の代わりに謝罪します。多くの生徒が同じ時間に登下校する学校においては、集団で登下校するマナーを生徒に指導しなければなりません。学校は、多くの生徒が集まって生活している公共施設ですので、さまざまな集団の中で考えなければならないマナーがあります。大声で話しながら登下校すれば、沿道で生活している人は、もう少し静かに登下校してほしいと思うでしょう。二人で話しながら歩くのと異なり、何人もの生徒で歩く時では、もうそこにマナーが問われてきます。

地域の人は、一人一人の生徒を良くも悪くもしっかり見守ってくれています。集団のマナーを意識していきましょう。

今日、城山中学校の生徒の登下校のマナーが地域の方から指摘されました。登下校のマナーをみんなで意識して行動していきましょう。

- 集団で道をふさぐような状況で登下校していないか
- お店の入り口や駐車場などの私有地に集まって迷惑をかけていることはないか
- 車いすやベビーカーなどとすれ違う時に道を譲っているか
- 大声で話していないか

ちょっと振り返ってみてください。3年生が手本になるようにお願いします。